

やまなし 市議会だより

平成20年11月19日

第15号

— 山梨庁舎議場にて 最後の定例会を開催 —



11月の新庁舎への移転に伴い、山梨庁舎議場では最後の定例会となる平成20年第3回定例会が開催されました。閉会日には議員全員で記念撮影を行い（上写真）、昭和41年4月に完成して以来、約42年間にわたり旧山梨市と合併後の新市の定例会が170回余り開催されてきた長い歴史と伝統を有する議場に別れを告げました。次回第4回定例会（12月）は新議場において開催され、山梨市議会は新たなスタートを切ることになります。

平成19年度各会計決算を認定

一般会計歳出決算額

対前年2.9%減の総額160億3,638万円余

平成20年第3回定例会は、9月2日に招集され、30日までの29日間の会期で開催されました。

この定例会では、補正予算、条例の制定・改正など市長提出議案24件、議員提出議案4件を審議しました。

この結果、すべての議案を原案のとおり可決しました。また、平成19年度各会計歳入歳出決算認定議案2件については、決算特別委員会で審査が行われ、本会議で認定されました。

なお、請願については1件が採択され、前回から継続審査となっていた請願第4号は不採択と決定されました。同じく前回からの継続審査となっていた請願第1号については、閉会中もなお継続審査とすることに決定しました。

おもな内容

定例会で決まった議案	2	常任委員会の審査	7
平成19年度決算を認定	3	議会活動日誌	8
市政一般質問	4～6	編集後記	8

定例会で決まった議案

【議員提出議案】

原案可決

○山議案第三号

・教育予算を拡充し、教育の機会均等及び水準の維持向上を図るための意見書の提出について

○山議案第四号

・新たな過疎対策法の制定に関する意見書について

○山議案第五号

・道路整備財源の確保等に関する意見書について

○山議案第六号

・山梨市議会会議規則の一部を改正する規則について

原案可決

○議案第八十号

・山梨市助産師修学資金貸与条例について

○議案第八十一号

・山梨市企業立地促進産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例について

○議案第八十二号

・山梨市役所の位置を定める条例等の一部を改正する条例について

○議案第八十三号

・山梨市議会政務調査費の交付に関する条例等の一部を改正する条例について

○議案第八十四号

・公益法人等への山梨市職員 の派遣等に関する条例等の一部を改正する条例について

○議案第八十五号

・山梨市手数料条例の一部を改正する条例について

○議案第八十六号

・山梨市民総合体育館設置及び管理条例の一部を改正する条例について

○議案第八十七号

・山梨市屋内温水プール設置及び管理条例の一部を改正する条例について

○議案第八十八号

・山梨市牧丘 B & G 海洋センター設置及び管理条例の一部を改正する条例について

○議案第八十九号

・平成二十年度山梨市一般会計補正予算(第二号)

○議案第九十号

・平成二十年度山梨市国民健康保険特別会計補正予算(第一号)

○議案第九十一号

・平成二十年度山梨市老人保健特別会計補正予算(第二号)

○議案第九十二号

・平成二十年度山梨市下水道事業特別会計補正予算(第一号)

○議案第九十四号

・平成二十年度山梨市介護保険特別会計補正予算(第一号)

○議案第九十五号

・平成二十年度山梨市居宅介護予防支援事業特別会計補正予算(第一号)

○議案第九十六号

・平成二十年度山梨市簡易水道事業特別会計補正予算(第二号)

○議案第九十七号

・平成二十年度山梨市活性化事業特別会計補正予算(第一号)

○議案第九十八号

・平成二十年度山梨市病院事業会計補正予算(第一号)

○議案第一百一号

・山梨市市民憲章の制定について

○議案第一百二号

・山梨北中学校耐震補強大規模改造建築主体工事請負変更契約について

○議案第九十九号

・平成十九年度山梨市一般会計及び各特別会計歳入歳出

決算認定について

○議案第百号

・平成十九年度山梨市公営企業会計決算認定について

原案とおり異議なく答申

○諮問第一号

・人権擁護委員候補者の推薦について

請願の審査結果

今定例会には一つの請願が提出され、教育民生常任委員会において、また、前回からの継続審査となっていた請願第四号については、閉会中の総務常任委員会において審査の後、次のような結果となりました。

◆採択となったもの

○請願第五号

・教育予算を拡充し、教育の機会均等及び水準の維持向上を図るための請願書

◆不採択となったもの

○請願第四号

・後期高齢者医療制度に関する請願書

請願第一号はなお継続審査

前回からの継続審査となっていた請願第一号については、閉会中もなお継続審査とすることに決定しました。

○請願第一号

・保険業法の制度と運用を見直し、自主的な共済の保険

業法の適用除外を求める意見書の提出を求める請願

決算特別委員会を設置

第3回定例会に提出された平成19年度各会計歳入歳出決算認定議案2件については、執行の実績を確認し、その内容を審査するため、委員7名で構成する「決算特別委員会」を設置し、同委員会に付託の上、今定例会中に審査することに決定しました。

定例会開会日において選任された委員7名と審査された議案については、つぎのとおりです。

委員

- 委員長 大久保 光 男
- 副委員長 古屋 保 男
- 委員 小野 鈴 枝
- 委員 大竹 裕 子
- 委員 秋山 榮 治
- 委員 向山 輝
- 委員 雨宮 巧

審査された議案

○議案第九十九号

・平成十九年度山梨市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定について

○議案第百号

・平成十九年度山梨市公営企業会計決算認定について

原案認定

○議案第九十九号

・平成十九年度山梨市一般会計及び各特別会計歳入歳出

平成十九年度決算を認定

平成20年第3回定例会において設置された決算特別委員会は、平成20年9月24・25・26日の3日間にわたり開催され、平成19年度各会計歳入歳出決算認定議案2件について、効率的に執行がなされたか慎重に審査が行われました。

閉会日の本会議では、決算特別委員会の報告を受け、議案第九十九号は賛成多数で、議案第百号は全会一致により認定しました。

なお、委員会における質疑の要旨はつぎのとおりです。

決算特別委員会における質疑(要旨)

問 今年度は枠配分方式といっているが、不用額の節減の努力が予算編成の際に配慮されているのか。また、努力した場合には、その課なり、事業なりに上乗せをして予算編成するインセンティブ方式というものがあるが、編成の際には考慮しているのか。

答 節減を図ってもらう経費、通常の経費をお願いしている。物件費等の経費については、今後なお一層の節減を図って

もらう方向で予算編成を行うことを基本としている。その中で、主要事業については、事業評価を行い、節減の成果が見込めれば、上乗せのものの検討を図っていきたい。



慎重な審査が行われた決算特別委員会

問 本市の財政健全化計画の中では、利率の高い起債については、条件さえ合えば、低い利率の借り換え債の活用などがうたわれているが、平成19年度の借り換え債の実績はどのくらいか。

答 一般会計のみの回答となるが、臨時地方道路整備事業関係や学校施設関係などで借り入れた元金残高を借り換えして、合計640万円ほどの利息の軽減が次年度以降

図れるのではないかと考えている。

問 本市では依然として、指名競争入札の割合が高いように思われる。一般競争入札の割合が低いことに関しどのような考えを持っているのか。

答 平成19年度の一般競争入札率は2.8%となっている。現在では基本的に、5000万円以上を一般競争入札としており、県では1000万円以上となつてい。今後は、市内業者の育成を視野に置きながら、研究させていきたい。

問 本市では、学校給食について民間委託が行われているが、その内容と委託の効果はどうか。

答 平成18年4月から今年度までに山梨小・後屋敷小・日川小・八幡小へ民間調理委託を導入した。委託業者は衛生管理体制に関わるノウハウを十分發揮しており、安心して給食を提供できている。また、調理員が欠勤した場合の対応の負担もなくなるなどの成果を踏まえながら、平成21年度以降も継続的に実施していきたいと考えている。

問 小児救急医療事業負担金が144万3000円、休日夜間急患診療体制整備負担金が1870万円計上されているが、これは市内の病院

に支払うものなのか。

答 小児救急医療事業負担金については、本市はもちろん県全体で負担金を出して運営している。また、休日夜間急患診療体制整備負担金については、本市と甲州市を東山梨医療圏と呼び東山梨医師会と契約しており、これらに係る休日と夜間の救急に対する負担金ということである。

問 先日の巨峰の丘マラソン大会は、参加者が増大し、家族を含めれば7000人以上の来訪者が集まり、周辺では巨峰等も販売され盛大に実施されており、参加者が参加料を支払う形式の中で333万円の補助金交付については、十分に成果が出ていると思うが、万葉うたまつりとホテル観賞会や源流まつりは参加料を取らず一切を負担金で運営している。参加者が参加料を出しても喜んでもらえるイベント方法を考えてほしい。

答 巨峰の丘マラソン大会のイベントもあるが、一般的に「観光宣伝」というものは、すぐに目に見える効果が出ていく。基本的な姿勢は、「山梨市をPRする」・「山梨市に来てもらう」・「そして、喜んでもらう」・「また来てもらう」こと

であり、間接的な効果はあるものと思われる。そのため、各イベント時には宣伝ブースを設置し、パンフレット等を配布している。配当された予算の中で大きな効果を上げられるよう各担当で努力しているが、ご指摘の点は重く受け止め、今後の事業内容を考えていきたい。



多くの参加者や来訪者で賑わった第24回山梨市巨峰の丘マラソン大会

問 市税等の滞納整理に関して、各課においては不納欠損等行う中で、大変苦労している様子が見受けられる。県による滞納整理機構も立ち上がっているようだが、各課の収納にかかる滞納について、一元化し徴収するような体制を作るべきだと思いがどうか。

答 現在、滞納整理については、納担当が中心となり行っており、その他は収納業務がある各担当課で行っている。滞納整理業務の一元化については、職員の配置等、関係課と協議する中で検討していきたい。

市政一般質問

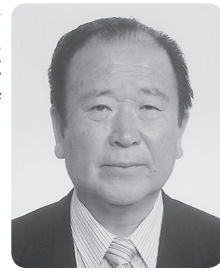
代表・一般

平成20年第3回定例会の市政一般質問及び質疑は、9月17日、18日の2日間行われ、代表質問を3人の議員が、一般質問を3人の議員が行い、市政全般について市の考えをたどりました。

質問と答弁の要旨はつぎのとおりです。

代表質問

市政会 雨宮義和



〈質問事項〉

- ・ 財政状況について
- ・ 認知症対策について
- ・ 自宅介護について
- ・ 住民基本台帳カードについて
- ・ 森林セラピーの推進について
- ・ 帯那山を中心とした周辺の観光推進について
- ・ 教育問題について
- ・ 農業振興地域整備計画の見直しについて
- ・ 市民農園について
- ・ フルーツ公園サーキットランド跡地について
- ・ 防災について
- ・ 防災行政無線放送について
- ・ フルーツ公園指定管理者について
- ・ 地域交流センターのバイオマスエネルギーについて
- ・ 山梨市小中学校の不登校について
- ・ 学力テスト結果について

〈主な質問と答弁〉

問 認知症対策について

本市は「認知症モデル地域支援対策構築推進事業」の指定を受け、いくつかの具体的事業を展開しているが、この事業は19年度と20年度の2カ年の事業であり、今年度終了すると聞いているが、その後の認知症対策について伺いたい。

答弁

市長

本市では、県から平成19年度に「認知症モデル地域支援体制構築推進事業」を委託し、2カ年にわたり事業を実施している。平成20年度は、認知症に関連した不安や心配事がある人が相談や処遇についての支援を受けることができる施設などの地域資源を掲載した「地域資源マップ」の作成を行っていく。認知症は、今後ますます増加することが予想されるため、モデル事業終了後も、このモデル事業で構築した「徘徊SOSネットワーク」「見守りネットワーク」などのシステムの維持、専門のコーディネーターによる相談などの支援体制を充実して、認知症の方が住み慣れた地域で暮らしていける手助けをしていきたいと考えている。また、「もの忘れ相談」及び介護サービス提供事業所3カ所で実施していただいている「認知症よろず相談所」

についても、継続していけるよう事業所と連携していきたいと考えている。

問 自宅介護について

介護保険給付の減少で、低所得層・年金生活者のみでなく、一般家庭でも費用負担は増すばかりであり、認知症の病人を抱える高齢者家庭は大変である。これらの家庭を事前にケアする態勢を整えてほしいが、本市には介護認定を受け、自宅介護は何人ぐらいいるのか。



転びにくい体をつくるための簡単な体操やストレッチ運動を行う「地域元気あっぷ教室」

答弁

市長

本市の状況であるが、把握している認知症高齢者は772人で、高齢者人口全体の7.7%を占めている。この内、在宅の認知症の方が561人で72.7%、施設入所者が211人で27.3%の割合となっている。また、介護認定を受けている人は

1285人である。この内797人、62%の人が在宅となっている。なお、認知症の予備軍については、その基準が明確でないことから予測することは困難である。認知症については、どうしても家族が公にしたがらないため、認知症はだれでもかかりうる病気であることを、広報などを通じて周知を行っている。誰もが遠慮なく認知症について話すことができる状況を作りたいと考えている。

中清会 小野鈴枝



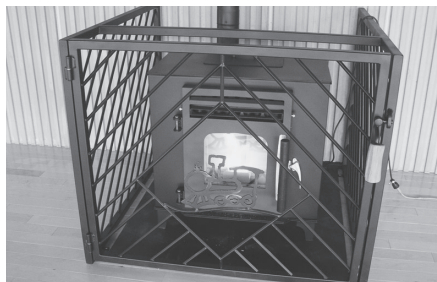
〈質問事項〉

- ・ 財政健全化の指標が示す本市について
- ・ 高齢者虐待についての本市の状況について
- ・ 児童虐待について
- ・ 生活保護費受給者の通院費不正問題についての本市での状況について
- ・ 食糧自給率について
- ・ 環境問題の中から煙害について
- ・ 重川橋の架け替え工事の進捗状況について
- ・ 地域交流センターについて

〈主な質問と答弁〉

問 食料自給率について

日本総合研究所会長の寺島実郎氏は「食料自給率を高めることによって、環境とエネルギー問題に立ち向かう」という方向転換を訴え、「日本は食料自給率の向上を通じて省エネルギーと削減に取り組まざるを得なくなった」との見解を示しているが、市長の考えを伺いたい。



環境に配慮したペレットストーブを新庁舎東館入口に設置

答弁

市長

本市においては、農業者の耕作意欲を減衰させ、耕作放棄地の増加原因ともなっている有害鳥獣対策に継続して取り組んでいるほか、中山間地域に多く見られる耕作放棄地の解消策として、地域が一体となつて「中山間地域等直接支払制度」に取り組みとともに、「農地・水・環境保全向上対策事業」では、農家だ

けでなく関係団体が協働で環境保全の取り組みを行うなど、環境に配慮した農業政策を推進している。さらに、果樹の剪定枝や間伐材など、賦存量の豊富なバイオマスの利活用と二酸化炭素排出量の削減に向けた先進的かつ環境に配慮した取り組みを継続して実施するなど、この分野からも環境問題に取り組んでいきたい。

問

地域交流センターについて

交流センターが完成した後の維持管理費等の概要を伺いたい。

答弁

市長

まだ設計段階であるため、正確な金額の算出はできないが、類似の既存施設や広場の面積等を比較・換算すると、電気料・上下水道料・通信費・警備費・賃貸料などで約180万円、ペレット代金が約220万円、広場の維持費に約100万円、合計して約500万円前後の経費が予想される。なお、イベント開催にかかる費用や人件費はこれの中に含まれてはいない。

真和会 佐藤 勇



〈質問事項〉

- ・ 農業問題について
- ・ 市民会館の改修について
- ・ 現庁舎の今後の活用について
- ・ 定住促進について
- ・ 次世代エネルギーパークについて
- ・ 健康推進施策について
- ・ 都市計画道路について
- ・ 災害対策について
- ・ 税金の収納について
- ・ 市長再選に向けて

〈主な質問と答弁〉

問

農業振興地域整備計画の総合見直しの中で2つのショッピングセンターの計画予定地の農振除外を計画しているが、協議の進捗状況を伺いたい。

答弁

市長

㈱さえきの案件は、農振除外面積が1ヘクタール強であるので、知事同意のみとなるが、㈱ベイシアの案件については、農振除外面積が2ヘクタールを超えるため、国（農林水産大臣）との協議が必要となる。この2つの大規模集客施設は面積に差異があるが、1案件に対する除外面積が大きいと、合併後に行われる総合見直しに含めて検討するよう県から指導を受けている。多量の数値データ、土地利用現況図、説明資料を

用いて協議を重ねる中で、少しずつ理解していただいているが、各要件に合致するとの同意をいただくためには、まだしばらく時間を要すると思われたい。更に努力を傾注していきたい。

問

現庁舎の今後の活用について

11月4日より新庁舎での業務が開始されるが、産業拠点として現庁舎の活用をお願いしたい。本市の中心部に位置し、大型バスも駐車可能であり、農産物の直売所、観光客のおみやげ品売り場として、活気のある場となると思うがいかがか。



今後の活用が検討されている旧市役所山梨庁舎

答弁

市長

農産物直売所として活用するには、建築基準法では特殊建築物に該当し、用途変更を行うためには耐震補強工事、消防法に適合した改修工

事の費用を要することになる。現在の山梨庁舎は建築基準法では事務所となるので、既存建物を事務所として活用していく場合には、建築基準法の用途変更は必要としないが、建物は過去3回の大きな建築基準法改正前の建物であることから、慎重な検討が必要となる。また、保健センターは本年2月、笛吹川沿岸土地改良区から事務所として借用したい旨の要望書が提出されているため、内容等の確認を行う中で、貸付を前提とした取り組みを進めているところである。次に、牧丘庁舎・三富庁舎の活用については、地域の実情等を勘案する中で地域の拠点となるような活用策の検討について、東市有地等の活用を考える市民懇話会、地域審議会のご意見を伺いながら進めているところである。

一般質問

日本共産党

吉田 昭 男

〈質問事項〉

- ・ 雇用促進住宅廃止問題について
- ・ 中小商工業を元気にする振興条例制定について
- ・ 高齢者世帯に火災警報器の

無料設置を

- ・職員採用について
- ・地球温暖化防止の一助として公用に自転車の使用を
- ・公施設へのチップ・ペレットストーブ、ボイラー購入促進と市民への助成制度について

〈主な質問と答弁〉

問 高齢者世帯に火災警報器の無料設置を

高齢者世帯を対象にした火災警報器の無料設置を先進地にならって検討することを求めるがどうか。

答弁 市長

住宅用火災警報器設置費用は、機種によりまちまちであるが、安価なものでも一個あたり5000円程度が必要となり、住宅によって設置個数も2個から4ないし5個となる。また、現在市内の65歳以上の高齢者世帯は約2800世帯あるので、無償設置となると市の財政負担も多額となる。みずからの生命・財政は、みずからが守ることが基本であるが、住宅火災による死者が増加していること、しかも死者の半数以上が高齢者であること、また、既存住宅への火災警報器の設置が平成23年6月1日から義務化されることなどを踏まえて、一部助成ができるかどうか検討させていただきたい。

公明党

大竹 裕子

〈質問事項〉

- ・思い出ふれあい（回想法）事業について
- ・地域防災士育成事業について
- ・小中学校の地デジ対応について
- ・貸し出し用AED（自動体外式除細動器）について
- ・原油高騰対策（福祉灯油）について
- ・有害鳥獣対策について
- ・安全・安心メールについて

〈主な質問と答弁〉

問 原油高騰対策（福祉灯油）について

国は福祉灯油や福祉ガソリンなどの購入費を自治体が補助する場合、特別交付税による補助率を3分の2に引き上げた。若干下がったとはいえ、まだまだ続く原油高と物価上昇であるが、生活弱者に対する本市の具体的な施策が期待されるところであるが、どのような対応をするのか。

答弁 福祉事務所長

福祉灯油については、支給している地域は寒冷地域が多くを占めている。支給対象者は、高齢者のみの単独世帯、障害者手帳を持つ家族がいる世帯、ひとり親世帯、生

活保護世帯などが該当となり、住民税が非課税か均等割のみが課税される世帯が前提条件である市町村が多数となっている。本市における65歳以上の非課税世帯は1974世帯、生活保護世帯については175世帯、障害者手帳を持つ家族がいる世帯は1966世帯となつている。昨年12月28日には原油高緊急対策会議を開催し、農業者などに対し「農林漁業セーフティネット資金利子補給制度」の創設や

商工業者に対しては、山梨市商工業資金・商工業近代資金・商工業後継者育成資金利子補給率の拡充などの対策を講じたところである。9月に入り、灯油の価格も値下がりが見え始めたところであるが、今後の価格の動向を見ながらさらに検討していきたい。

真和会

向山 輝

問 市役所新庁舎の右折レーン設置のためになくなった記念樹について

久保堰の取り入れ口の河床が下がってしまった事により現在機能不全に陥っている。昭和60年に当時の塩山土木事務所長・市長・久保堰水利組合長の間で維持管理に関する覚書が、市長・榎渡辺建設代表の間で誓約書が取りかわされて以来23年が経過しているが、その半分以上の年月で使用できないままになっている。昨今、耕作放棄地が増加している中で、少しでも優良農地が維持できるよう取り組んでほしい。また、改修するまでの間を含めて、早急に隼・岩手堰の改修にも取り組んでもらいたい。また、また、県とも協議する中でこれまでの久保堰を含めた経緯と今後の見通しについて伺いたい。

〈質問事項〉

- ・市及び土地開発公社が所有する土地について
- ・隼・岩手堰について
- ・八幡橋・岩手橋の交差点改良と西関東連絡道路について
- ・救急医療体制の導入について

〈主な質問と答弁〉

問 隼・岩手堰及び久保堰について

現在、隼・岩手堰は農業用水及び消防水利として地域住民にとって欠くことのできない用水路である。昨今の住宅化等の進行に伴い、用水路上流付近での洪水量が増加し、用水路の洗掘、崩落等による農地への被害が生じているため、早期の改修が必要と

なっている。このような状況を踏まえ、市においては、県に改修の要望をしたところである。その結果、今年度、山梨県において農地防災事業の「ため池等整備事業」として事業採択に向け、調査に入るところである。今後、各種手続きを踏まえ、事業採択されると平成21年度から隼・岩手堰約1170メートルの改修が実施されることとなり、優良農地の維持及び耕作放棄地の解消につながるものと期待している。また、久保堰の取水口については、笛吹川から取水不能の状況であり、現在、久保堰は隼堰からの用水を利用してのが現状である。取水口の導水路及び暗渠部分の土砂除去を過去何回か実施してきたが、安定的な取水は困難である。そのような状況から恒久的に取水するためには、相当規模の改良費用及び河川法の手続きが必要となる。今後河川管理者において河床変動の調査等対応について検討していただけるよう鋭意努力したい。

詳しくは会議録を
詳しい内容を知りたい方は、会議録を市民図書館、公民館、情報公開コーナーなどに備えますので、ご覧ください。

常任委員会の審査

総務

今定例会の各常任委員会は、9月19日に開催され、付託された議案について慎重に審査が行われました。各常任委員会における質疑の要旨はつぎのとおりです。

○議案第八十九号について

問 防災無線、情報管理システムの工事費が当初予算より4900万円余りの追加となった理由はなにか。

答 防災無線施設の新庁舎への移転経費及びJアラート（全国瞬時警報システム）の関係等で予定していた以外のシステム導入が必要となったためである。



議案を審査する総務常任委員会

問 消防自動車は任意保険に加入しているのか。

答 対人、対物、車両保険に加入しており、一台あたりの掛け金は年間約12000円である。

問 市税の滞納状況はどうか。

答 国保税を除く、市税の滞納額は平成19年度末で約4億6000万円余り、件数は約2000件であり、滞納の収納率は約16・4%であった。また、今年度50万円以上の高額滞納者のうち、100件ほどを山梨県地方税滞納整理推進機構と連携を図るなかで滞納整理を行い、8月末現在、1500万円余りを徴収し、22件の差し押さえを行った。

○議案第九十号について

問 後期高齢者支援金等の病床転換支援金とはなにか。

答 国では現在35万床ある医療療養病床を平成24年度までに25万床に減らし、10万床を老人保健施設又は居住系サービス施設に転換する目標を掲げており、そのための転換支援の助成等を行うとともに、介護保険において、平成23年度までに必要な受け入れを図るための支援を行うものである。

建設経済

○議案第八十一号について

問 山梨市企業立地促進産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の内容は。

答 山梨市全域である集積区域内において、県知事の承認した「承認企業立地計画」に従って対象施設を設置した事業者に対して、5年間固定資産税の課税を免除する制度を制定するものである。



議案を審査する建設経済常任委員会

○議案第八十九号について

問 修繕の補正に関連して、西沢渓谷で落石等による遊歩道の遮断が発生した場合の対応は。

答 県から管理委託費の交付を受けていることもあり、安全対策の観点から西沢渓谷歩道管理組合に委託し、週に1回2人で巡回する体制を整え、小規模の崩落、倒木の処理を行っている。大規模な崩落等の発生箇所は、自然現象ということもあり把握は難し

いが、発生した場合は業者にお願いをしている。

問 鳥獣被害対策について具体的にどのような施策をしているのか。

答 農協や猟友会へ委託している。有害鳥獣については、農業等への被害の有無に関わらず捕獲している。今後防護柵の設置・整備を順次進め、未設置区への設置を進める予定である。

要望事項

有害鳥獣による被害が増大の一因となっている現状から、市の重点目標の中に有害鳥獣対策を入れ、有害鳥獣からの被害防止にさらに取り組んでいただきたい。

委員会での審査のあと、「久保堰取水口」の現地調査を行いました。

教育民生

○議案第八十号について

問 修学資金の貸与に該当する者は市内在住者に限るのか。市外在住者は対象にならないのか。

答 将来市内において助産師としてその業務に従事しようとする希望がある者であれば、市外在住者でも修学資金の貸与の対象となる。

○議案第八十六号から八十八号について

問 指定管理者制度導入に向けての条件改正のようだが、導入した場合に維持管理や経営の効率性が高まるのか議論が不十分ではないか。責任体制が十分にとれるのか。

答 すでに導入している他市の状況を研修したところ、市民からの苦情もなく順調に進んでいるうえ、従来までのサービス以上のものが提供できている。また、責任体制についても募集時の要項及び協定を結ぶ際に責任分担等をはっきり定めてトラブル等ないように進めていく。

要望事項

川浦口留番所の建物の外観に合った植栽の検討と堀之内小学校の跡地の有効活用の推進に取り組んでいただきたい。

委員会での審査のあと、「旧坂本邸」及び「根津記念館」の現地調査を行いました。



議案を審査する教育民生常任委員会

議会活動日誌

9月

-平成20年度山梨市総合防災訓練(1日)
-議員全員協議会 (2日)
-平成20年第3回山梨市議会定例会 (2日~30日)
-新100歳長寿者の慶祝訪問 (15日)
-議員全員協議会 (17日)
-第2回甲武信源流サミット (20日)
-第24回山梨市巨峰の丘マラソン大会(21日)
-決算特別委員会 (24日~26日)
-第3回笛吹川源流まつり (28日)
-議員全員協議会 (30日)



9月28日、道の駅みとみ特設会場において、第3回笛吹川源流まつりが開催され、議員が参加しました。

10月

-山梨市農地いきいき特区事業「稲刈り」 (4日)
-根津記念館オープニングセレモニー(10日)
-山梨市市制施行3周年記念式典(15日)
-第240回山梨県市議会議長会定期総会 (16日)
-議員全員協議会 (22日)
-山梨市新庁舎竣工式 (22日)
-焼山峠周辺秋の観光地美化清掃(27日)
-全国水源の里シンポジウムin喜多方 (28日~29日)
-東山梨地区広域シルバー人材センター 会員交流会 (29日)



10月10日、根津記念館オープニングセレモニーが行われ、議員が参加しました。

11月

-山梨市役所新庁舎開庁式典 (4日)
-関東市議会議長会第1回理事会 (6日~7日)



11月4日、山梨市役所新庁舎開庁式典が行われ、議員が参加しました。

関東市議会議長会第1回理事会が本市のフルーツパーク富士屋ホテルにて開催される

去る11月6日から7日にかけて、山梨市のフルーツパーク富士屋ホテルにて関東市議会議長会第1回理事会が開催されました。

6日は関東1都7県から市議会議長48名、市議会事務局関係者59名が出席し、第1回理事会が開催されました。本市からは関東市議会議長会副会長を務める野澤議長と、来賓として中村市長が出席しました。

翌7日は、オープンしたば

編集後記

本年は台風の上陸もなく、山々の紅葉も色鮮やかさをいっそう増しております。また、季節は冬の装いを日一日と深めようとしておりますが、市民の皆様にはお元気で過ごしのことと存じます。

今回の議会だより第15号は、9月議会で審議しました平成19年度各会計決算認定をはじめ、各補正予算及び山梨市助産師修学資金貸与条例などが主な内容であります。

なお、今回より議会だよりの発行者を議長とし、掲載する質問事項も質問者の意向にしたがって編集することといたしました。

かりの根津記念館と笛吹川フルーツ公園内において視察が行われ、本市を大いにPRすることができました。



フルーツパーク富士屋ホテルにおいて開催された関東市議会議長会第1回理事会

さて、今9月議会をもって表紙の写真のとおり約42年間にわたり使用され、山梨市の歴史とも言えるべき議場とも別れとなりました。12月定例会からは新庁舎の議場で行われますが、傍聴席のバリアフリー化もされ、一層議会を身近に感じて頂けます。どうぞ傍聴にお越し頂き、ご意見・ご感想をお寄せください。これから寒さが募りますが、お体には十分ご自愛ください。

議会だより編集委員会

- 委員長 向山 輝
- 副委員長 志村 忍
- 委員 野澤 重幹
- 委員 岩崎 友江
- 委員 大竹 裕子
- 委員 秋山 榮治